

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本果実工業株式会社	記入日	2010/9/21
登録消費材名	まぐろ油漬缶、まぐろスープ煮缶、さば水煮缶、マッシュルーム水煮缶、キャットフード缶詰		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

ツナ缶業界においては、世界的なまぐろ原料高から、ツナ缶原料がマグから価格が比較的やすいカツオにシフトした。円高の影響もあり、海外から、安いカツオを原料としたツナ缶が大量に輸入され、国産のツナ缶は大打撃をうけている。この影響は当分続くと思われる。日本船籍船漁獲のマグロ原料は、依然として高値安定を続けている。その原料の安定確保に全力をあげている。さば原料は、地球規模の温暖化の影響により、海流の変化、海水温の変化により、年毎に漁獲量、漁獲時期に変化が生じている。出来る限り早く情報を収集し原料確保の努めていく。マッシュルームは、生原料使用のため、製造は原料次第での製造となっている。極力収穫に合わせた製造を行い農家の安定仕入先として国内農家を支援していきたい。ツナ缶製造時に発生する血合肉を利用し、キャットフードの製造を行う。あくあまでも派生品が原料のため、ツナ缶の製造がないとキャットフードの製造ができない。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

異物混入クレームゼロを目標に製造をおこなった。
まぐろ缶で夾雑物（うろこ、ひれの繊維、血合肉）、毛髪、繊維の混入クレームが発生してしまった。目視検査の強化、粘着ローラーの徹底を実施。コンベアベルトの交換も実施した。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

昨年度達成できなかった異物混入はゼロを再度目標とする。毛髪、金属、の混入は絶対に起こさない。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	日本果実工業株式会社	記入日	2010/9/27
登録消費材名	みかんジュース(粒々含む)、ジャム(苺、りんご、マーマレード)、ゆず酢、フルーツゼリー、レモンスカッシュ、夏みかんスカッシュ、タンザン飲料、りんごジュース、野菜ミックスマッシュ、歌茶等		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

イチゴジャムに使用する加工苺の原料確保に際し、これまで、山口県下の農家にて契約栽培を行ってきたが、安定数量確保が難しく生活クラブ提携の弥栄共同農場(島根県)にて初めての生産・収穫を行った。来年度以降についても継続的な生産及び農場支援(育農)を行う事で数量を確保していきたい。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

温州みかんジュース向けの原料不足により欠品を起こしたが、今年度は1年以上の原料を確保した事で供給対策を行った。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

国産原料を確保するべく全農を含めて体制をとっていきたい。